

ご存じですか？被災宅地危険度判定

被災宅地危険度判定とは…

大規模地震や大雨などで、宅地が大規模かつ広範囲に被災を受けた場合に、宅地の被害状況を迅速かつ的確に把握したうえで危険度を判定して住民に情報提供を行い、二次被害の軽減・防止を図るものです。

熊本地震で約 19,000 件の判定を実施

平成28年の熊本地震では、本県の被災宅地危険度判定士延べ135人が被災市町村（熊本市、益城町、南阿蘇村など）を支援するために、現地へ派遣されました。

被災宅地危険度判定の結果は、下記3種類の判定ステッカーを見やすい場所に表示し、当該宅地の使用者・居住者だけでなく、宅地の付近を通行する歩行者に対しても安全であるかどうかを識別できるようにします。

ご存じですか？被災建築物応急危険度判定

被災建築物応急危険度判定とは…

地震で被災した建物を、余震で倒壊するなど危険性があるのか判定して表示を行うものです。国や市区町村、建築関係団体などが連携し、判定士を派遣して行います。

大地震が起こったら…

地震後、建物はダメージを受け、倒壊は免れても地震に対する強さが弱まっている可能性があります。大地震の後には数回の余震が予想されますが、弱くなった建物は余震によって倒壊、部材の落下など人的被害を起こしかねません。このため、被災者がそのまま家にいていいのか、避難した方がいいのかなどを判断するため、救命・消防活動などと並行して速やかに応急危険度判定を行う必要があります。



判定結果は3種類のステッカー(A3)を現地で見えやすく貼り付けて表示

(赤)	(黄)	(緑)
<p>被災宅地危険度判定結果</p> <h1>危険宅地 UNSAFE</h1> <ul style="list-style-type: none"> ◆ この宅地に立ち入ることは危険です ◆ 立ち入る場合は専門家に相談して下さい ◆ この判定は二次災害の軽減・防止を目的としています <p>注記 :</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <p>調査番号</p> <p>判定日時 平成 年 月 日 午前・午後 時現在</p> <p>電 話 ()</p> <p><input type="text"/> 災害対策本部</p>	<p>被災宅地危険度判定結果</p> <h1>要注意 宅地 LIMITED ENTRY</h1> <ul style="list-style-type: none"> ◆ この宅地に入る場合は十分注意して下さい ◆ 必要的に確認する場合は専門家にご相談下さい ◆ この判定は二次災害の軽減・防止を目的としています <p>注記 :</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <p>調査番号</p> <p>判定日時 平成 年 月 日 午前・午後 時現在</p> <p>電 話 ()</p> <p><input type="text"/> 災害対策本部</p>	<p>被災宅地危険度判定結果</p> <h1>調査済 宅地 INSPECTED</h1> <ul style="list-style-type: none"> ◆ この宅地の被災度は小さいと考えられます ◆ この判定は二次災害の軽減・防止を目的としています <p>注記 :</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <p>調査番号</p> <p>判定日時 平成 年 月 日 午前・午後 時現在</p> <p>電 話 ()</p> <p><input type="text"/> 災害対策本部</p>
<p>宅地に立ち入ると危険</p> <p>宅地に入るには十分注意</p> <p>宅地の被災程度は小さい</p>		

判定ステッカーには、判定結果に基づく対処方法についての簡単な説明や二次災害防止のための処置についても明示します。また、判定についての問い合わせ先もステッカーに表示しています。

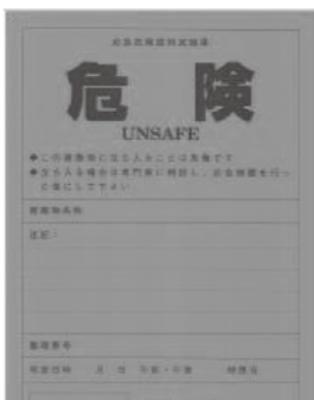
なお、判定は造成宅地について擁壁や斜面などの確認を行うもので、建築物について確認を行う被災建築物応急危険度判定とは異なります。

目的をご理解いただき、判定のための調査の際にはご協力ください。



問い合わせ先 総務課 廉務班 永野

判定結果は3種類のステッカー（A3）を建物の出入口などに貼り付けて表示

(赤)	(黄)	(緑)
 <p>建物に入ると危険</p>	 <p>建物に入るには十分注意</p>	 <p>建物は使用可能</p>

似た名前の判定に…

判定の目的や基準がそれぞれ異なります。

住家被害認定

「り災証明書」を発行する目的で被害程度を認定

被災度区分判定

建物の復旧対策を検討する目的で应急危険度判定後に建物被災度を詳細に判定

被災地危険度判定 ※詳しくは左のページに

造成宅地に対する災害時の応急対策として危険度を判定する制度で、地震や降雨などによる宅地災害が広範囲で発生後、二次災害を防ぐ目的で被害の状況を把握して宅地の危険度を判定（降雨災害にも対応する点が建物の応急危険度判定と違います）